



社会福祉法人  
京都視覚障害者支援センター

## 2024 年度 事業報告

【法人理念】 希望に満ちた成長への喜び

【行動指針】 働く力、よりよい生活、あなたの能力や可能性に合った  
自立に向けての支援を行ないます

〒610-1111 京都市西京区大枝東長町 1-67  
社会福祉法人 京都視覚障害者支援センター  
TEL075-333-0171 FAX075-333-0172  
Email: info@kyo-ssc.com

# 目 次

|    |                                       |    |
|----|---------------------------------------|----|
| I  | 2024 年度 法人概要 .....                    | 1  |
| II | 各部門別報告 .....                          | 3  |
| A. | 障害者支援施設 洛西寮.....                      | 3  |
| 1. | 施設入所支援 .....                          | 3  |
| 2. | らくさい作業所（就労継続支援B型） .....               | 8  |
| ア. | 作業支援.....                             | 8  |
| イ. | 生活支援.....                             | 10 |
| B. | 三療事業所.....                            | 11 |
| 1. | らくさい治療院 .....                         | 11 |
| 2. | 美鈴治療院（就労継続支援B型） .....                 | 12 |
| C. | 障害者相談支援事業所 スマイルサポート（指定特定相談支援事業） ..... | 13 |
| D. | 点字出版施設 紫野点字社.....                     | 14 |
| E. | 京都府視覚障害者訪問相談員派遣事業.....                | 14 |
| F. | 法人.....                               | 15 |
| 1. | 事務局 .....                             | 15 |
| 2. | 主催行事 .....                            | 18 |
| 3. | 共催事業 .....                            | 19 |

# 【 I 2024年度 法人概要 】

## A. 2024年度3つの対応

### 1. 障害福祉サービス報酬改定への対応

2024年度の障害福祉サービス報酬改定に伴い、就労継続支援A型事業のスコア表の影響による減収が懸念された。これに対応するため、当法人では治療院を就労継続支援B型事業へ移行することを決定し、対策を実施した。

事業の実施については、2024年9月に、らくさい治療院を「主たる事業所」（定員10人）、美鈴治療院を「従たる事業所」（定員10人）とし、一体の事業所として京都市の指定を受け、運営を開始した。

運営実績としては、移行後も運営上の大きな影響はなく、患者数および売上は前年を上回る結果となった。

これにより、事業の安定性が確保され、計画通りの成果を上げることができた1年となった。

### 2. 京都府視覚障害者訪問相談派遣事業における課題への対応

今年度、京都府視覚障害者訪問相談員派遣事業の委託費は2期連続の削減が決まり、事業運営への影響が懸念される状況となった。

今後の展望としては、引き続き、安定的な事業運営を目指し、財源確保のための新たな取り組みや訪問体制の強化を進める。

### 3. 福祉人材確保に向けた処遇改善と制度整備への対応

社会福祉業界における初任給は他業界と比較して競争力が不足しており、人材確保が困難な状況が続いている。そのため、福祉人材の確保は政府の重要課題とされており、各法人においても対応が求められている。

今年度の取り組みとしては、当法人では、職員のキャリア形成の支援及び長期的な定着を促進するため、以下の規定を作成した。

#### キャリアパス制度の整備

① 昇給・昇格の基準を明確化し、職員が成長できる仕組みを構築。

#### スキルアップ支援

② 職責に応じた研修や資格取得支援制度を導入し、専門性の向上を図る。

③ 処遇改善加算への対応

給与・待遇の向上を実現するため制度整備を進め、処遇改善加算の適用を受けられるよう規定を整備した。

今後の展望としては、福祉業界の魅力を高め、優秀な人材の確保・定着を促進し、職員のキャリア形成を支援し、働きがいのある職場環境を提供する。加えて、事業の安定運営と質の高い福祉サービスの提供を継続し、今後も、福祉人材の確保と職員の働きやすい環境づくりを推進し、より充実した支援体制を構築する。

## B. 障害者支援施設洛西寮及びらくさい治療院、美鈴治療院の成果と課題のポイント

### 1. 障害者支援施設 洛西寮

#### 【成果】

① 職員体制の改善

職員補充により、作業支援および日常生活支援が充実した。

② 看護師不在時の対応

看護師が不在の状況下でも、職員間の連携により通院支援や服薬管理などの対応を継続できた。

③ 後進育成の取り組み

点字データ作成班および縫製作業において、次世代を担う職員や利用者の育成を開始した。

#### 【課題】

① ミシン作業の拡充

利用者の就労機会を広げるため、ミシン作業の内容や受注量の増加を図る。

② 看護体制の整備

利用者の心身の安心・安全を確保するため、安定した看護体制の構築。

③ 触法障害への理解と対応

触法障害に関する理解を深め、適切な支援体制の整備。

### 2. 就労継続支援B型（らくさい治療院、美鈴治療院）

#### 【成果】

① らくさい治療院・美鈴治療院合わせて、定員20名を安定して維持。

② 両院ともに、前年の患者数および売上を上回る成果を達成。

③ 就労継続支援B型における平均工賃が、全国で日本一に到達。

#### 【課題】

① 利用者が自らスキルアップの目標やモチベーション、課題を把握し、管理できるよう支援。

② 患者対応の質を安定させるため、対応方法の再現性を高める支援。

③ 挨拶・返事・声掛けなど、基本的なコミュニケーションスキル向上への継続的支援。

## C. 法人経営戦略会議から

2019年度に慢性的な赤字経営を見直すため、財政再建と長期計画を柱に緊急対策本部を立ち上げた。

2020年に名称を「法人経営戦略会議」に改め、5年間かけて、法人運営の基軸として視覚障害者の8050問題への支援に取り組むことを決定した。

また、今後10年間の重点課題を以下の6つに定めた。

- ① 経営健全化
- ② 後進の育成と人事構想
- ③ 洛西寮入所利用者の確保
- ④ らくさい作業所就労支援会計の点字依存からの脱却
- ⑤ 洛西寮に代わる住居基盤の構築
- ⑥ 三療指導員の養成

特に、法人の健全経営と利用者確保は密接に関連しているため、引き続き広報活動に力を入れ、同時に各部門の後継者育成を進める年度とする。

2022年度には黒字転換し、2024年度も黒字決算が見込まれる中、法人経営戦略会議は一定の役割を果たしたことを確認し、これをもって活動を休止し、今後は法人運営会議を中心に施設の課題に取り組み、利用者支援を進めていく。

## 【 II 各部門別報告 】

### A. 障害者支援施設 洛西寮

#### 1. 施設入所支援

##### 【概要】

年度初めは入所利用者 26 名からのスタートだったが、年度内の新規利用者が 1 名、退所利用者が 2 名で期末の利用者数は 25 名となった。新規利用者は、近県出身の中途視覚障害者で、機能訓練施設等を経て、地域での在宅生活の可能性を模索した中で洛西寮を選択し入所となった。退所利用者 2 名はいずれも 65 歳以上の方で、1 名は健康状態が変わり、医療的ケアが可能な他施設への移行、もう 1 名は人生の後半を家族とともに過ごすために実家へ戻る形となった。

利用者を増やすための取り組みは、前年度同様全国の基幹相談支援センターへチラシを郵送し、問い合わせの電話は数件あったが、入所につながる方には出会えなかった。また、他府県の訪問訓練・相談事業所を訪問することは実現できなかったため、次年度への課題になった。

医療看護体制では、看護師が不在のまま 1 年を過ごしたが、職員全員で通院やケアを行い、支援不足のない体制を維持することができた。

##### 【成果】

- ① 職員間の連携・情報共有体制の維持
- ② 利用者の通院介助と療養の相談
- ③ 利用者緊急時の状況に応じた対応
- ④ 感染症予防の徹底と感染者発生時の迅速な対応
- ⑤ 春と秋の行事・洛西寮まつりの開催、月に 1 度のレクリハ実施

- ⑥ 利用者の休日の外出に対するボランティアの手配
- ⑦ 職員への視覚障害理解と資質向上のための研修
- ⑧ 地域の視覚障害者への洛西寮 4F ホール・3F 会議室の会場利用を通じての交流
- ⑨ BCP（業務継続計画）に合わせた業務実行のための会議、研修、訓練の実施
- ⑩ 全国の基幹相談支援センターへの広報活動

#### 【課題】

- ① 入所利用者の安心で穏やかな生活の実現
- ② 生活支援のさらなる充実
- ③ 入所利用者の定員確保への取り組み充実
- ④ 利用者の休日の外出要望に対応できるボランティアの充実
- ⑤ 感染症拡大時や災害発生時の持続可能な体制作り
- ⑥ 看護体制の整備

### 【各サービス内容】

#### ア. 健康管理

##### 【概要】

前年度より看護師不在のままの1年間となったが、支援員が一丸となって救急の医療的な対応や通院、ケア、相談などで支援し、不足が出ないような体制を維持した。医療的知識やスキルについて、支援員間で話し合いできる体制も向上している。

##### 【成果】

- ① 単独通院が困難な利用者、または急病の利用者に対して、通院介助及び入院時の支援。
- ② 嘱託医との連携による、利用者個々の医療課題の把握とニーズに沿った支援の実施。
- ③ 利用者個々の状況に合わせた、確実な服薬管理。
- ④ 利用者個々の顔色や皮膚の状態、バイタル測定や観察による体調変化への気づきなど積極的な健康管理
- ⑤ 新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症対策の最新情報の取得と実施。

##### 【課題】

- ① 看護体制の整備
- ② 感染症対策など最新情報に常にアプローチし、専門性に基づいた知識の習得
- ③ 利用者の健康維持に向けた、意識付けの継続と自発的行動の定着

## 【実績】

### ① 利用者の健康診断等の実施状況

| 期日   | 実施内容  | 対象者          | 人数  | 実施者等      | 実施場所   |
|------|-------|--------------|-----|-----------|--------|
| 毎月1回 | 嘱託医健診 | 希望者(7・2月は全員) | 133 | 洛西寮嘱託医    | 洛西寮医務室 |
|      | 寮内健診  | 全員           | 422 | 洛西寮栄養士    | 洛西寮医務室 |
| 6月   | 基本健診  | 全員           | 33  | 鳥羽健診クリニック | 洛西寮    |

### ② 通院件数

| 年度     | 通院件数         |
|--------|--------------|
| 2019年度 | 416(うち介助348) |
| 2020年度 | 260(うち介助210) |
| 2021年度 | 285(うち介助224) |
| 2022年度 | 282(うち介助212) |
| 2023年度 | 340(うち介助249) |
| 2024年度 | 313(うち介助247) |

## イ. 食生活と栄養管理(衛生管理含む)

### 【概要】

#### ① 栄養状態の維持と食生活の質の向上

- ・前年度と同様に、利用者の栄養状態の維持・改善および食生活の質の向上を目指した。
- ・作業中・作業後・休日などの自由時間を含めた生活全般を考慮し、栄養面も含めた支援計画会議を通じて、多職種と連携しながら、個々の特性や体調に配慮した支援を実施した。

#### ② 食事内容とサービスの充実

- ・栄養士および調理師と連携し、「美味しい食事(適時適温)」「季節感の取り入れ」「丁寧な盛り付け」の実現に努めた。
- ・適温配膳の充実を図るため、「うどん・そば等の麺類」に加え、「カレーライス」「シチュー類」などの対面配膳を増やし、サービスの向上を図った。
- ・誕生日のリクエストメニューについては、委託業者と連携し、大量調理では対応困難な献立を工夫して提供した。
- ・以上の取り組みにより、利用者の満足度の向上を確認した。

#### ③ 給食委員会と委託業者との連携

- ・給食委員会を開催し、給食会社との情報共有および調整を行った。
- ・プロポーザル後、委託会社による積極的な改善が見られ、給食会議においても要望に対し現実的な対応がなされた。

#### ④ 行事食の提供

- ・春の行事として、千弥農園にてバーベキューを実施した。
- ・秋の行事では、六甲山牧場を訪れ、牛肉およびラム肉を使用したバーベキューを実施した。

## ⑤ 広報活動

・インスタグラムにて、彩り豊かな盛り付けの昼食の写真を掲載し、食事を通じた施設の広報を行った。

## ⑥ 食堂環境の整備

・食堂で使用する御飯茶碗・湯飲み・平皿などの食器類を新たに購入し、食事環境の整備を図った。

## 【成果】

- ① 今年度の感染症については、インフルエンザに罹患した利用者が2回（各1名）あったが、コロナ禍での経験を活かし、衛生面に配慮した対応により、問題なく食事提供ができた。罹患者のトレーは使用後に次亜塩素酸で消毒し、食器はディスポーザブル食器を使用した。また、他の利用者への感染もなかった。
- ② 引き続き、HACCP（衛生管理の国際的手法）に基づく感染症対策マニュアルや殺菌基準等の周知徹底を図った。
- ③ 発熱・感染症（隔離）時においても、粥・きざみ食など、臨機応変に対応し食事提供を行った。
- ④ 食堂のテーブルにはパーテーションを設置し、飛沫感染予防に努めた。
- ⑤ 適時・適温での食事提供を目指し、盛り付けおよび配膳を徹底した。
- ⑥ 誕生月のリクエストメニューや鍋料理、ティータイムでの手作り菓子などが好評を得た。
- ⑦ 医師の指示に基づく療養食の提供および、個人に応じた栄養指導を実施した。
- ⑧ 委託業者との連携を密にし、利用者の食生活の充実と、それに伴う心の安定に貢献した。
- ⑨ 行事での食事を通じて、「食事を楽しむ」ことに加え、「利用者間および職員とのコミュニケーション」の充実にもつながった。
- ⑩ 給食会議を通じて、洛西寮と委託会社が連携し、食事の充実および衛生面での注意喚起を十分に行うことができた。
- ⑪ 健康状態・食事状況・生活習慣等を把握し、日々健康で働き続けられるよう、多職種との連携による生活支援を行った。
- ⑫ 今年度は、外食の楽しみが味わえるように、寮内でのクリスマス会（ガストの宅配）、新年会でのにぎり寿司などを通じて、食事への興味や楽しみをさらに増やすことができた。
- ⑬ 委託業者との連携により、「食事時間に温かい物は温かく、冷たい物は冷たく食べる」「薄味でも出汁の効いた、健康的でおいしい食事を摂る」といった基本的な食生活が身に付き、さらに充実した。

## 【課題】

- ① 利用者個々の自発性を尊重し、本人が考えて行動する部分を多くしたところ、見えないところでの間食が増え、体重増加が顕著な利用者が見られた。

- ② 利用者個々の健康や自立心の育成について、職員が支援する部分と自身での考える力のバランスをどう解決していくかを考えていく必要がある。

## ウ. 余暇活動支援

### 【概要】

コロナ禍で自粛していた余暇活動を情勢をみながら復活し、春と秋の外出、洛西寮まつり、新年会に加え、月に1度レクリハ（レクリエーションとリハビリテーションの要素が合わさった活動）を開催した。ボランティアとの学習機会の点字や社会などは次年度への課題となった。

### 【成果】

- ① 春の行事は洛西地区の農場で焼き肉バーベキュー、秋の行事は六甲山牧場へ観光バスによる日帰り旅行を実施した。
- ② 洛西寮まつりは、前年に続き気候の良い10月に地域との交流を意識した企画で開催され、地域住民に大好評だった。
- ③ 月に一度、レクリハ企画として職員が内容を準備し、ヨガ、阿波踊り、ゴールボール、ウォーキングを開催し、運動不足の解消と気分転換・リラックスができた。

### 【課題】

- ① ボランティアとの連携による点字や社会などの学習機会の再開
- ② レクリハ企画の充実による運動不足解消と気分のリフレッシュ

## エ. ボランティア支援サービス

### 【概要】

今年度はボランティアが4名増え、4名辞められたので、増減がなく総勢31名となった。6名がボランティアを辞められたが、作業ボランティアをしていただける方が大幅に増え、平均すると一日に約一人の作業お手伝いをいただいたことになる。

### 【成果】

コロナ中も困難を克服し、工夫しながら活動を継続していただいた朗読ボランティアさんは、今年度も変わらず毎週月曜日の「こんな話あんな話」、毎週土曜日の対面朗読を、実施していただいた。

春と秋の外出行事、七夕会、クリスマス会、洛西寮まつりでも昨年を大きく上回るご協力を得ることができた。

## 【課題】

土日祝等の利用者の外出をサポートしていただくボランティアは、対応していただけるボランティアは昨年と同じ方5名で、10回の外出に対応できたが、希望しながらも確保できずに外出できなかったケースもあった。個別外出に対応していただけるボランティアを増やすことは、利用者の移動の権利を守る上で喫緊の課題である。

また、読み書きサービスを復活させて、利用者の読み書き困難を支援する体制を整えていきたい。

## 【実績】

- ① ボランティア登録者数 31 名
- ② ボランティア活動実績

| 活動内容 | 延人数 |
|------|-----|
| 作業   | 239 |
| 朗読   | 451 |
| 選択科目 | 0   |
| 手引き  | 10  |
| 行事   | 79  |
| 合計   | 779 |

## 2. らくさい作業所（就労継続支援B型）

### ア. 作業支援

#### 【概要】

職員の採用・復帰により体制が整ったことで1年通して安定して運営していくことが出来た。後進育成を目的とした職員の配置換えも行うことが出来、先を見据えた取り組みへと繋げていくことが出来た。利用者のスキルアップを目的とした支援も時間を掛けて取り組んだ。

また、充足した体制により縫製作業の受注増にも柔軟な対応が可能となり、売上アップへと繋がった。紙器加工の受注が減ったことから来年度以降ミシン作業を拡充していく方向性も確認することが出来た。

#### 【成果】

- ① 安定した運営
- ② 点字作業・ミシン作業を中心とした後進育成のスタート
- ③ 利用者のスキルアップ
- ④ 縫製作業の売上増
- ⑤ 次年度取り組むべき方向性の確認
- ⑥ 工賃評価表の見直し

## 【課題】

- ① 安定した収入を得るための体制づくり
- ② 更なる利用者のスキルアップ
- ③ 点字データ作成班・縫製作業の後進育成の継続
- ④ 支援の方向性の統一
- ⑤ ステップアッププランに沿った目標へのアプローチ

## 【実績】

### ① 作業科目一覧

| 科目     | 内容   |
|--------|--|
| 点字印刷   | 市民しんぶん、市会だより、京都市部局情報誌、盲導犬協会情報誌   |
| 封入発送作業 | 市民しんぶん拡大版  |
| ミシン縫製  | 下請：和装用袋・トートバッグ、ヒモ通し、袋物、カバンの込み入れ作業、おみくじ・お守り等<br>自主製品：給食袋・体操服入れ・白杖入れ・手提げ袋・マスク等 |
| 箱作業    | 京菓子箱：八つ橋・京の夢丸  |
| 数珠加工   | 数珠玉通し  |

### ② 売上（単位：円）

| 科目   | 2024 年度    |
|------|------------|
| 点字   | 10,237,805 |
| 自主製品 | 440,630    |
| 縫製下請 | 715,538    |
| 箱作業  | 645,370    |
| 数珠加工 | 70,380     |
| 自販機  | 194,285    |
| 合計   | 12,304,008 |

### ③ 工賃

| 年度               | 2024        | 2023        |
|------------------|-------------|-------------|
| 工賃支払総額 ①         | 7,739,683 円 | 8,116,150 円 |
| 延人数②             | 7,648 人     | 7,785 人     |
| 年間開所日数③          | 238 日       | 238 日       |
| 平均利用者数 ②÷③       | 32.2 人      | 32.8 人      |
| 年間開所月数(月)④       | 12 月        | 12 月        |
| 平均工賃月額 ①÷(②÷③)÷④ | 20,030 円    | 20,620 円    |

|             |           |           |
|-------------|-----------|-----------|
| 延時間数（時間）⑤   | 34,332 時間 | 35,963 時間 |
| 平均工賃時間額 ①÷⑤ | 225 円     | 226 円     |

## イ. 生活支援

### 【概要】

職員の採用・復帰により柔軟な対応が可能となり、歩行訓練を再開しレクリハも実施することが出来た。

歩行訓練では、近所での買い物や通院の訓練だけでなく基礎的な白杖歩行訓練も行い、レクリハでは、ヨガ・阿波踊り・ウォーキング等の実施により利用者の心身のリフレッシュへと繋げることが出来た。

また、集団生活が難しい利用者への支援も時間を掛けて行い、そこから利用者の変化も見ることが出来た。

### 【成果】

- ① 充足な体制による柔軟な対応
- ② 歩行訓練の再開・レクリハの実施による生活の充実・心身のリフレッシュ
- ③ 集団生活が難しい利用者への積極的なアプローチ
- ④ 利用者の変化

### 【課題】

- ① 集団生活の困難さを抱える利用者への対応・傾聴
- ② 支援の方向性の統一
- ③ 個々の課題の洗い出し
- ④ 更なる生活の充実

### 【実績】

| プログラム  | 内容                       |
|--------|--------------------------|
| 買い物支援  | 近隣の商店や桂川イオンへの買い物同行や計画の支援 |
| シーツ交換  | 必要な利用者に対して、寝具を整え、衛生管理支援  |
| 一斉居室支援 | 居室の衛生保持のための清掃支援と整理整頓の支援  |

## B. 三療事業所

### 1. らくさい治療院

(4月～8月 就労継続支援A型) (9月～3月 就労継続支援B型)

#### 【概要】

3年に一度の報酬改定により、就労Aとして継続が困難と判断し、就労Bに移行した厳しい年度であったが、年間患者数、売上は前年を超えることができた。

#### 【成果】

- ① 就労Aから就労Bに移行した年度になったが、スタッフ、職員のモチベーションをキープすることにより、患者数前年比100.2%、売上前年比103%となった。
- ② スタッフ個別月別指名数は、利用者5人が前年より増加した。
- ③ スキルアップのための課題を絞り込む作業が浸透している。
- ④ メンタルの状態と施術のクオリティーの関係性の理解が促進されている。

#### 【課題】

- ① スキルアップに関するタスクマネジメントの強化を図る。
- ② 患者対応の再現性の意識化を図る。
- ③ 挨拶や返事、報連相を通してコミュニケーションを促進する。
- ④ モニタリングを通して、スタッフの自己分析、自己受容、自己理解を促進する。

#### 【実績】

- ① 年間患者数=6,680名(前年比100.2%) 月平均556.7名
- ② 年間売上=24,433,800円(前年比103%)
- ③ 平均賃金 就労A型(2024年4月～8月)

| 年度   | 総支給月数<br>合計③ | 就労時間<br>合計① | 工賃支払総額<br>合計② | 平均工賃月額<br>(一人あたり)②÷③ | 平均工賃時間額<br>②÷① |
|------|--------------|-------------|---------------|----------------------|----------------|
| 2024 | 50月          | 6,746時間     | 9,113,079円    | 182,262円             | 1,351円         |
| 2023 | 120月         | 16,127時間    | 20,966,088円   | 174,717円             | 1,300円         |
| 2022 | 120月         | 16,166時間    | 19,934,209円   | 166,118円             | 1,233円         |

- ④ 平均工賃 就労B型(2024年9月～2025年3月)

| 年度   | 総支給月数<br>合計③ | 就労時間<br>合計① | 工賃支払総額<br>合計② | 平均工賃月額<br>(一人あたり)②÷③ | 平均工賃時間額<br>②÷① |
|------|--------------|-------------|---------------|----------------------|----------------|
| 2024 | 70月          | 9,044時間     | 12,615,120円   | 180,216円             | 1,395円         |

⑤ 年度別月平均個別指名数の推移（％）

| 年度   | S氏   | Y氏   | N氏   | O氏   | K氏   | T氏   | K氏   | S氏   | I氏   | H氏   |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 2024 | 71.3 | 70.6 | 55.3 | 48.3 | 43.0 | 30.7 | 36.3 | 32.3 | 20.3 | 15.7 |
| 2023 | 75.3 | 66.8 | 56.8 | 50.0 | 41.0 | 31.6 | 38.3 | 28.0 | 17.1 | 15.7 |
| 2022 | 69.7 | 66.5 | 56.8 | 46.3 | 42.8 | 39.8 | 32.6 | 25.8 | 16.8 | 15.9 |

## 2. 美鈴治療院（就労継続支援B型）

### 【概要】

社会状況やベテラン利用者の退所によって減少していた患者数が少しずつ回復し、利用者確保や患者数の増加など滞りなく順調に行うことができた。

### 【成果】

- ① 利用者数を維持することができた。（今年度2名入所）
- ② 患者数・売上ともに前年を上回ることができた（患者数前年比103%売り上げ106%）
- ③ 利用者間の交流・情報交換の場を提供することによりコミュニケーション力や積極性・行動力の向上につながった。
- ④ 利用者個々のニーズに合わせた支援を行うことができた。

### 【課題】

- ① 施術、接客などの振り返りができるよう支援する。
- ② スタッフが治療に対する目標意識を高めるよう支援する。
- ③ 患者対応などの再現性の意識化ができるよう支援する。
- ④ 就職活動支援のため関係機関との連携強化。

### 【実績】

- ① 年間患者数＝4,052名（前年比103%）
- ② 年間売上＝14,642,000円（前年比106%）
- ③ 平均工賃（10月～3月）

| 年度   | 総支給月数<br>合計③ | 就労時間<br>合計① | 工賃支払総額<br>合計② | 平均工賃月額<br>(一人あたり)②÷③ | 平均工賃時間額<br>②÷① |
|------|--------------|-------------|---------------|----------------------|----------------|
| 2024 | 118月         | 17,696時間    | 13,177,800円   | 111,676円             | 745円           |
| 2023 | 101月         | 15,730時間    | 12,472,700円   | 123,492円             | 793円           |
| 2022 | 43月          | 6,835時間     | 5,785,381円    | 134,544円             | 846円           |

※参考工賃 らくさい治療院・美鈴治療院（主従事業所）合算平均工賃

| 年度      | 2024        |
|---------|-------------|
| 工賃支払総額① | 25,792,920円 |
| 延人数②    | 3,673人      |
| 年間開所日数③ | 341日        |

|                  |           |
|------------------|-----------|
| 平均利用者数 ②÷③       | 10.8 人    |
| 年間開所月数(月)④       | 12 月      |
| 平均工賃月額 ①÷(②÷③)÷④ | 199,019 円 |
| 延時間数 (時間) ⑤      | 26,895 時間 |
| 平均工賃時間額 ①÷⑤      | 959 円     |

## C. 障害者相談支援事業所 スマイルサポート（指定特定相談支援事業）

### 【概要】

- ① 障害福祉サービスの支給決定が円滑に行われるようにサポートした。
- ② 洛西寮利用者へピアカウンセリングを実施した。

### 【成果】

- ① 計画相談業務を概ね滞りなく実施し、円滑なサービス利用へとつながった。
- ② ピアカウンセリングの実施。順番以外の希望者も並行して実施した。

### 【課題】

- ① 確実な事務業務の実施。
- ② 自主点検表の活用、業務チェック機能の強化。

### 【実績】

#### ① 計画相談

| 提供月  | 計画   | モニタリング |
|------|------|--------|
| 4 月  | 2    | 6      |
| 5 月  | 0    | 2      |
| 6 月  | 2    | 6      |
| 7 月  | 2    | 3      |
| 8 月  | 6    | 2      |
| 9 月  | 2    | 5      |
| 10 月 | 1    | 2      |
| 11 月 | 1    | 2      |
| 12 月 | 1    | 5      |
| 1 月  | 2    | 7      |
| 2 月  | 2    | 2      |
| 3 月  | 0    | 3      |
| 合計   | 21 名 | 45 名   |

・ カウンセリング・・・100 名（延べ人数）

## D. 点字出版施設 紫野点字社

### 【概要】

京都市の広報物や会議資料等を中心に、視覚障害関係団体等の点字出版物を作成した。

### 【成果】

- ① らくさい作業所との連携による、京都市点字広報物の出版
- ② 京都市の少部数（会議資料等）への迅速な対応
- ③ 京視協支部の点字資料の作成を安価に迅速に対応
- ④ 視覚障害者関係事業所の点字広報を作成

### 【課題】

- ① 点訳者の養成・育成
- ② 納品までのタイトな日程の注文への対応
- ③ PDF データのテキスト化への対応
- ④ らくさい作業所点字部門との連携・体制の強化

### 【実績】

| 項目       | 実績（枚）   | 前年比実績（%） |
|----------|---------|----------|
| 製版       | 4,521   | 101.21%  |
| 塩ビ版印刷    | 282,925 | 97.26%   |
| パソコン製版   | 1,184   | 94.72%   |
| パソコン印刷   | 11,551  | 146.85%  |
| 点字名刺、はがき | 1,075   | 38.89%   |
| 点字シール    | 1,782   | 49.36%   |
| 発送       | 2,072   | 134.98%  |
| 墨字印刷     | 27,518  | 120.21%  |
| 墨字入力     | 1       | 33.33%   |

## E. 京都府視覚障害者訪問相談員派遣事業

### 【概要】

- ① 本年度も、南丹、乙訓、山城北、山城南の医療圏域の相談活動を展開した。また、本事業及び法人施設の広報活動にも力を入れ、情報が届かない孤立、孤独の視覚障害者をなくす活動を実施した。
- ② 相談者は高齢者の割合が高くケースも複雑化している。各関係機関と連携して支援した。

### 【成果】

- ① 福祉制度の情報提供、視覚便利機器の活用支援。
- ② 地域、社会参加に向けての支援。

- ③ 傾聴などの心理的サポート。
- ④ 広報活動による本事業の周知、地域との連携促進。

**【課題】**

- ① 後進育成。
- ② 関係機関との連携強化。

**【実績】**

- ① 過去5年間の相談延べ件数比較

| 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1207   | 1251   | 1090   | 1068   | 931    |

- ② 府内相談会実施状況

| 実施日    | 開催地  | 会場            | 時間          |
|--------|------|---------------|-------------|
| 10月21日 | 亀岡市  | 亀岡総合庁舎        | 10:30~15:30 |
| 11月26日 | 宇治市  | 宇治市生涯学習センター   | 10:30~15:30 |
| 1月16日  | 長岡京市 | 長岡京市役所        | 10:30~15:30 |
| 2月17日  | 京田辺市 | 京田辺市立社会福祉センター | 10:30~15:30 |

## F. 法人

### 1. 事務局

**【成果】**

- ① 2024年9月、らくさい治療院を就労継続支援A型から就労継続支援B型へ移行。  
 ※ 2024年4月の障害福祉サービス等報酬改定により、就労継続支援A型事業では減収が避けられず、事業の継続が困難であることを京都市に相談。その結果、らくさい治療院は美鈴治療院とともに主従の一体事業所とし、就労継続支援B型事業として新たに指定を受けた。
- ② 経営戦略会議による、財政「今後10年取り組むべき課題」の明確化
- ③ 洛西寮利用者確保のための広報宣伝活動
- ④ 職員研修による支援力向上
- ⑤ 虐待防止・身体拘束等の障害者権利擁護の徹底
- ⑥ 感染症対策・自然災害対策等の業務改善計画（BCP）の研修・訓練等の推進
- ⑦ キャリアパス制度の構築と処遇改善加算への対応

《経営戦略会議の設置運営》

| 月  | 日  | 主な内容                          | 出席者数 |
|----|----|-------------------------------|------|
| 5  | 8  | 就労継続支援A事業の就労継続支援B型への移行についての検討 | 7名   |
| 6  | 12 | 健全経営について(人件費率等)、法人の将来を目指す事業   | 6名   |
| 7  | 24 | これからの視覚障害のニーズ                 | 8名   |
| 9  | 25 | 特別支援学校(盲学校)の生徒の減少、就労継続支援事業の現状 | 8名   |
| 11 | 27 | 半期決算、キャリアパス対応案、経営協セミナー報告      | 8名   |
| 2  | 19 | 処遇改善加算取得のためのキャリアパスシステムの構築1    | 8名   |
| 3  | 5  | 処遇改善加算取得のためのキャリアパスシステムの構築2    | 8名   |

《広報活動》

- ・ホームページによる情報発信
- ・YouTubeによる事業活動の見える化
- ・SNSによる洛西寮の活動発信 (Instagram・X)
- ・チラシ配布 (洛西寮広報＝全国基幹相談支援センター800件)
- ・機関誌「楽西(らくさい)」の発行 年2回 (8月と1月)

《行政関係》

- ・らくさい治療院の就労継続支援A型からB型への京都市への相談 → 移行申請
- ・京都市指導監査 11月14日 (文書指摘: 役員会等の連続欠席者への検討)
- ・京都府障害者支援課へ「視覚障害者訪問相談員派遣事業」の予算アップの要望

《職員研修》

| 日程     | 内容                             |
|--------|--------------------------------|
| 5月24日  | 視覚障害の理解と様々な課題                  |
| 7月19日  | 障害者権利条約と改正障害者差別解消法から見た法人経営の方向  |
| 9月20日  | 虐待防止研修                         |
| 11月22日 | 視覚障害の理解と資質向上について               |
| 1月17日  | 身体拘束適正化研修<br>幸せから考える、利用者支援について |

《業務継続計画 (BCP 関連) 研修・訓練》

| 日程     | 内容                                  |
|--------|-------------------------------------|
| 10月25日 | 感染症罹患者の対応時の衛生用品の説明<br>防護服等の着脱訓練     |
| 1月17日  | コロナ感染症クラスター発生時の対応共有研修<br>陰圧装置組み立て訓練 |

**【課題】**

- ① 洛西寮の利用者確保（社会的ニーズの精査と施設事業のマッチング）
- ② 法人の将来を担う人材育成
- ③ 洛西寮建物の法令是正箇所の修繕及び老朽化への対応
- ④ 利用者地域移行施策への対応と洛西寮入所のあり方検討

**【実績】**

① 事業運営

| 事業(所)名                          | サービス事業                                    | 事業開始年月日                                  | 定員  |
|---------------------------------|---|--|-----|
| 障害者支援施設 洛西寮<br>・洛西寮<br>・らくさい作業所 | 施設入所支援（30名）<br>就労継続支援B型（40名）              | 2011年10月1日<br>2013年4月1日                  | 40名 |
| 点字出版施設 紫野点字社                    | 点字出版事業                                    | 1982年4月                                  |     |
| 京都府視覚障害者訪問相談員<br>派遣事業           | 訪問相談事業                                    | 1977年10月                                 |     |
| 美鈴治療院                           | 就労継続支援B型                                  | 2023年10月1日                               | 10名 |
| らくさい治療院                         | 就労継続支援A型<br>"<br>就労継続支援B型<br>(美鈴治療院と主従事業) | 2013年4月1日<br>2024年8月31日廃止<br>2024年9月1日移行 | 10名 |
| 障害者相談支援事業所<br>スマイルサポート          | 特定相談支援事業                                  | 2014年3月1日                                |     |

② 理事会・評議員会の開催

・理事会

| 月  | 日  | 主な内容                                       | 出席者数      |
|----|----|--|-----------|
| 5  | 26 | 2023年度事業報告並びに決算案<br>らくさい治療院の就労A型から就労B型への移行 | 理事8名 監事2名 |
| 9  | 11 | 経理規程の改正について                                | 理事8名 監事2名 |
| 12 | 11 | 苦情解決第三者委員の選任<br>らくさい治療院就労B型事業移行の補正予算       | 理事8名 監事2名 |
| 3  | 8  | 2025年度事業計画・予算案、キャリアパスの確立                   | 理事8名 監事2名 |

・評議員会

| 月 | 日  | 主な内容                                       | 出席者数  |
|---|----|--|-------|
| 6 | 10 | 2023年度事業報告並びに決算案<br>らくさい治療院の就労A型から就労B型への移行 | 評議員8名 |

・監査会

| 月 | 日  | 主な内容              | 出席者数          |
|---|----|-------------------|---------------|
| 5 | 20 | 2023 年度事業報告並びに決算案 | 理事 2 名 監事 2 名 |

③ 法人登記事項

- ・資産の変更登記（6月21日）

## 2. 主催行事

### 洛西寮まつり

#### 【概要】

日時：2024 年 10 月 19 日（土）14:00～17:00

会場：洛西寮（全館）

内容：模擬店、遊び、自主製品販売、視覚障害体験・啓発コーナー、大縄飛び大会、大抽選会

#### 【成果】

雨の降る中ではあったが、200 名ほどのお客さんにご来場いただきました。「子ども縁日」をテーマに掲げ、沢山の子どもたちを中心に大人の方まで楽しんでいただきました。特に、遊びコーナー、洛友会の「輪投げ」、啓発コーナーなど列ができるほど盛況であった。またメインイベントとなっている「大縄跳び大会」も多数の子どもたちの参加で盛り上がっていた。昨年に引き続き、近隣住民の皆さんに大変喜んでいただけたおまつりとなった。

関係団体、地域の自治会、地域ボランティアの方々のご協力を頂き、「毎年たのしみです」というお客さんのお声もあり、とても有意義な 1 日となった。

#### 【課題】

- ① 少ない職員数での運営
- ② 適切な開催時期の検討
- ③ 継続した学生ボランティアの確保

#### 【実績】

来場者：約 200 名

協力ボランティア：22 名（登録 18、学生等 4）

京都ウェルワイズメンズクラブ 5 名

後援・助成：京都新聞社会福祉事業団、読売光と愛の事業団大阪支部

後援：京都府視覚障害者協会、京都市社会福祉協議会

協力：京都ウェルワイズメンズクラブ

### 3. 共催事業

#### ア. 第 58 回白杖安全デー（京都市内）

##### 【概要】

実施日時：2025 年 3 月 16 日（日） 13 時～15 時 15 分

会場：京都ライトハウス 4 階 あけぼのホール

テーマ：「なあなあ聞いて！私たちの声

～視覚障害者の安全な外出のために～」

内容：5 年ぶりの集会型のイベント。前半は落語、後半は座談会の 2 部構成。

##### 【成果】

雨天にもかかわらず、90 名ほどの参加があった。ただ京都市内地域福祉大会の後枠の時間帯の開催ということもあって、視覚障害当事者の割合が大きかった。

視覚障害者の安全な移動のためには、より多くの府・市民の方々からの声掛けが必要であること、そして当事者同士で、白杖の有効性など再認識し、まだ白杖を持つことに抵抗を感じている当事者へ促しをしていくことが大切であることを共有できた。

今後より効果的な啓発活動にしていくため、会場や内容についての検討が必要と思われる。

#### イ. 第 49 回あい・らぶ・ふえあ（視覚障害者福祉啓発事業）

##### 【概要・成果】

期間：2025 年 1 月 25 日（土）～26 日（日）午前 10 時から午後 6 時

会場：イオンモール KYOTO SAKURA 館 1F センターコート

来場者数：約 370 名（2 日間合計）

内容：「点字体験」「誘導（手引き）体験」「ゲーム体験」の 3 つの体験コーナーを設けた。

より多くの方に来場いただけるように、壁面に案内を貼る、お子様が楽しめる玩具を置く、授産製品を販売するなどの工夫をした。

その他、昨年体験希望が多かった点字体験コーナーを拡大し、盲導犬（PR 犬）と触れ合う場を設け、小さなお子様でもゲームを通して体験も楽しめるような工夫を凝らし、より幅広い年齢層の方にも足をとめていただけるようにした。